

令和7年度第2回水戸市立博物館協議会

日時 令和8年2月20日（金）
午前10時から
場所 水戸市立中央図書館
3階視聴覚室

議 題

1 報告事項

- (1) 企画展 戦後80年事業「いま、戦争を語るということー水戸市立博物館所蔵品と河口龍夫《関係ー植物・HIROSHIMAのタンポポ》を通してー」の結果について
- (2) 特別展「洋服と和服の100年」の結果について
- (3) 令和7年度博物館事業の実施状況について

2 協議事項

- (1) 特別展「子どもミュージアム 夜のいきもの展」の開催について
- (2) 令和8年度博物館の主な事業計画（案）について

3 その他

※ 閉会後に、特別展「子どもミュージアム 夜のいきもの展」の会場をご案内します。

水戸市立博物館協議会委員名簿

(任期：令和6年7月15日～令和8年7月14日)

氏 名	役職等
桐原 幸一	茨城生物の会会長
笹目 礼子	県立歴史館歴史資料課長
桑名 実	市学校長会代表・稲荷第一小学校校長
河原 将子	市文化振興協議会副会長
中庭 忠	水戸商工会議所副会頭
村山 朝子	茨城大学名誉教授
安嶋 隆	茨城生物の会副会長
小坪 のり子	県弘道館事務所主任研究員
添田 仁	茨城大学人文社会科学部教授
玉川 里子	学識経験者
塚原 正彦	牛久市議会議員・ みんなのミュージアムうしおくるプロデューサー
藤 和博	学識経験者
藤本 陽子	学識経験者
黒木 勇	市議会代表

(順不同・敬称略)

事務局名簿

氏 名	役職等
小川 邦明	水戸市教育委員会事務局 教育部 歴史文化財課長
杉岡 有里乃	同課 文化財係長
鈴木 雅人	同課 博物館長
藤尾 隆志	同課 博物館 学芸係長(歴史部門担当)
小野瀬 永子	同課 博物館 学芸員(民俗部門担当)
中村 有紀子	同課 博物館 学芸員(美術部門担当)
柿澤 晟也	同課 博物館 学芸員(自然部門担当)
平井 佐知子	同課 博物館 会計年度任用職員

報告事項(1) 企画展 戦後 80 年事業

「いま、戦争を語るということー水戸市立博物館所蔵品と河口龍夫《関係ー植物・HIROSHIMA のタンポポ》を通してー」の結果について

1 概要

本展は、水戸市立博物館所蔵品 18 点(戦災資料)と被爆地広島をテーマに制作された河口龍夫氏の《関係ー植物・HIROSHIMA のタンポポ》を核とする作品群(86 点)によって織り成される展示を通して、戦争なるものを我々自身の問題として考える場となることを目的として開催した。

展示にあたり、博物館全体を展示会場と見なし、第 1 会場(4 階展示室)、第 2 会場(3 階自然部門・展示室)では、壁面に点在する《関係ー植物・HIROSHIMA のタンポポ》と対峙するように空襲で被災した品々、戦場に赴いた兵士達の遺品、戦前・戦中に使われていた生活用品等の戦災資料を配し、さらに第 3 会場(2 階民俗部門・受付)でも来館者を迎えるための作品展示を行なった。

2 会期

令和 7 年 7 月 19 日(土)～8 月 24 日(日)まで(32 日間)

3 入場者数

1,970 人	【内訳】	一般	1,239 人
		高校生	24 人
		小・中学生	337 人
		幼児	101 人

4 来場者満足度

83.3% (N=72 人) ※ データは「6-(3)-②」を参照

5 関連行事の結果

(1) アーティスト・トーク「HIROSHIMA のタンポポ」

講師：河口龍夫氏
内容：作家本人である河口氏による作品紹介
日時：7 月 19 日(日) 14:00～15:30
会場：市立博物館 4 階・3 階
参加者：54 人

(2) 水戸の戦災に向き合うー戦争の記憶を伝えるものたちー

講師：玉川里子(元水戸市立博物館館長)
朗読：水戸女子高等学校生徒、(一社)オリーブ協会水戸二高支部
内容：玉川氏による水戸空襲の講座と高校生による戦災体験者の手記の朗読
日時：① 7 月 26 日(土)・② 8 月 16 日(土)
いずれも 14:00～15:30
会場：4 階展示室
参加者：① 18 人、② 58 人



展覧会ポスター



(3) ギャラリートーク

日 時：①8月3日（日），②17日（日）
いずれも 14:00～15:30

会 場：4階展示室

参加者：①14人，②12人



6 アンケート集計結果 （回答者数：72人）

(1) 回答者について

① お住まい

水戸市	34人	
水戸市外（県内）	19人	ひたちなか市, 那珂市, 日立市, 笠間市, 下妻市他
水戸市外（県外）	15人	旭川市, 福井県若狭, 川崎市, 相模原市, 狹山市, 柏市, 成田市, いわき市, 都内, 台湾他

② 性別

男性	25人	女性	30人	無回答	0人
----	-----	----	-----	-----	----

③ 年齢

9歳以下	13人	30代	6人	60代	8人
10代	12人	40代	4人	70代以上	4人
20代	7人	50代	10人		

④ 交通手段（複数回答あり）

電車	10人	バス	12人	自家用車	37人
タクシー	0人	バイク	0人	自転車	2人
徒歩	5人	その他	1人		

(2) 展覧会の広報について

① この展覧会を何でお知りになりましたか？

ポスター	15	雑誌・タウン誌	0
チラシ	24	テレビ・ラジオ	0
広報みと	4	人から聞いて	11
ホームページ	7	博物館・図書館に来てみて	23
SNS	4	その他	5
新聞	3		

※その他 ・外看板を観て ・県立美術館でのお知らせを見て ・郷土カルタ巡り
・友達に勧められて ・用事で近くまで来たから

無回答 1

(3) 今回の展覧会について

① 今回の展覧会の内容についてどう感じましたか

よくわかった	44	少し難しかった	3
大体わかった	15	難しかった	0
普通	8	無回答	2

② 今回の展覧会の満足度はどうでしたか？

満足	51	やや不満	0
やや満足	9	不満	1
普通	8	無回答	3

③ この展覧会に対するご意見やご感想をお聞かせください（一部抜粋）

【展示について】

- ・歴史を知れてよかったです（10代・男性）。
- ・良くわかりました（70歳以上）。
- ・私の両親は戦後生まれだが、祖父母は戦争経験者で幼い頃よく話を聞いていました。直接話を聞いた世代として、できることは何なのか、いつも考えています。貴重な展示をたくさんの方に見ていただきたいです（40代、女性）。
- ・水戸空襲がおきて、亡くなってしまった人がいるんだな。かわいそうだなと思いました（9歳）。
- ・予告ビラのことは、知っていましたが、眼にしたのは始めてで興味を持ちました。この時代に生きていた人々の悲しみ、苦しみを思うと自分の祖父母も大変な暮らしだったろうと想像しました。展示空間が広々としていて、次の資料を見学する間に、頭の中で整理することができました。水戸にも8月2日に空襲があったことを多くの若い方々にも見学していただきたい（60代、女性）。
- ・私は平成生まれのため、戦争のことは話で聞いたことしかありません。令和生まれの子供が生まれたため、これからは戦争がない平和な日々が続くよう伝えていきたいと思います。
- ・戦争というものを、忘れてはいけないし、未来の子供たちに伝えていかなければならないという思いを強く持てました。人間も自然も、その時というものは二度と戻ってこないという事が展示から感じさせてもらって、今を前を向いて過ごそうと思いました（30代、女性）。
- ・ヨーロッパや中東で戦争が続いている状況の中で、80年間平和で過ごせたことがとても幸福な事だと実感しています。今日の展示から多くの人々が戦争について、平和について、少しでも考えていただけることを祈っています（70代、男性）。
- ・すごくよかった（9歳以下）。
- ・修学旅行で訪れた原爆資料館とは少し違い、芸術作品という象徴的なモノと一緒に展示物や説明を眺めていると、不思議と自分が今、戦時下に置かれているような気分になった。死と隣り合わせの恐怖に満ちた非日常を感じた（10代、女性）。
- ・戦時に祖父と祖母が感じていたことに想いを馳せながら展示を見させていただきました。80年という時を超えて二人が過ごした時が結びつき、当時の音やにおい、気温や風の流れを共有した様な感覚になりました。祖父は海軍の軍人として南方への戦いに赴き無事帰還した後、農業に精を出し私たち子孫の幸せを願ってくれていました。戦争中の事は、多く語ることはありませんでしたが、今回の展示を拝見して、祖父と祖母の平和への想いを感じることが出来ました（50代、男性）。
- ・一つの資料では、時代背景や、どのような被害があったのか等の情報しか得られないが、美術（河口）の作品と共に見ることで、二つが共鳴し合い、独特でありながらも、見る者に何か呼びかけるような展示になっていたと感じた。更に美術から戦争を考えるという展示を、実物でよりリアルに表現されており、このような展示方法があるのだと勉強になった（20代、男性）。
- ・自分が生まれていない時、何が起こったのか、その戦争というものの悲惨さや、これからの日本、未来を守っていくために、自分が考えてやるべきことは何なのかを凄く

思い知らされた。戦争が二度と起こってほしくないと思いますし、その反面、何が起ころかわからないのも現実だなと感じました。河口さんの作品からの戦争に対する思いもよく伝わりました。(20代, 女性)。

・展示品のならべ方が、よく戦争の怖さや戦時中の生活などが、よくわかる内容でとてもよかったです(20代, 男性)。

・広島市の原爆ドームや博物館に似た何かを感じた。「はだしのゲン」に出てきた物や話が出てきてわくわくした(10代, 男性)。

・なんと言っても現物の訴求力は大きい。また河口龍夫とのコラボも斬新でした。毎年、この季節に水戸市の苦難の歴史を再確認して、平和を祈念することには大きな意義がある。ありがとうございました(70代, 男性)。

・河口さんの戦争に関する作品が展示されることを知り、また「いま、戦争を語るということ」というタイトルにもひかれ、東京からきました。4階を見始めたときに、文字展示(解説)と展示方法で、通常の公立博物館等の戦争展示とは大きく違うことに気づきました。大変素晴らしく静かに見入りました。企画展パンフレットも素晴らしく、学芸員平野様のことも知りました。このような企画意図、作品内容、(戦争遺物と現代作品ともにすばらしい)、展示空間が実現されたことに勇気づけられ、感謝致します。私は他に水戸の美術館、内原の義勇軍資料館のことを調べていて、たまたま今回の企画展を知りましたが、市外からも見に来てもらえる(来て欲しい)すばらしさでした。ぜひ、広報に力を入れていただきたいです。(マスメディア以外にも、市民活動等であつながらの方々の間の情報交換もあります)これからも楽しみにしております(60代, 女性)。

・展示作品で黄色に塗った種子の意味が読み取れなかった。一般家庭で起こった戦争体験の展示は良かった(50代)。

・アートによって歴史の記憶を喚起するという展示のコンセプトがとてもよかった。「タンポポ」の作品が、戦争についてのモノ資料のそばにたずんで、それをみつめているという構図がすばらしかった。とても清冽な空間のなかで、厳かさをも感じさせながら、歴史の記憶、出来事を想起し、想像するという体験の空間が大変心地よかった(50代, 男性)。

・B29のプロペラの展示がすごかった。コレの大本(おおもと)が幾多の命を破壊してきたと思うとゾッとした(30代, 男性)。

・貴重な戦争の資料とともに土地ゆかりの作家の作品を観られ、とても来て良かったと思いました(40代, 女性)。

・毎年お願いします。子への教育のため(40代, 男性)。

・思っていたよりもあっさりだった(20代, 女性)。

・ゆっくり見学出来てとてもよかった。早めでも入口を開けていただいて、暑い中助かりました。ありがとうございました。

・河口展すばらしかった。来た甲斐がありました(70代, 広島の男性)。

・アートと戦争 もっとたくさんの人に観て欲しいと思いました。水戸市民全員とか(60代, 女性)。

・遠い昔の事なのかもしれないが、現実にあつた事。辛くて目を背けたい展示もあつたが、受け止めて見た。ありがとうございました(50代, 女性)。

・空襲予告ビラについてですが、ビラを拾う事を禁じたことを書いてないんですね。戦争を無理矢理続ける為に軍のした事をもっと知らせても良いのではないですか。戦争を始めたなら終わらせることが難しいということ(60代, 男性)。

・改めて戦争を考えた。今 TV 画面でみるウクライナやガザと同じ光景がこの日本のいたる所にあつたこと。市民を標的として悲惨な戦争であつたことを忘れてはな

らないと思っている。一兵士（綿引さんたち）が静かに重く語っている。残してくれて、そして展示してくれてありがとうという気持ちです(60代,女性)。

- ・河口氏の作品と市内県内の遺物が見事に組み合っていて予想外の内容でした。期日直前に機会を作って見に来ることができてよかったです。(60代)。

- ・作品を絞って河口作品と組み合わせた展示が新鮮でした。テキストも良かったです。最後のろうそく立てに庶民の工夫,たくましさを感じました。土の展示もおもしろかったです。誰かと作品について話したいと思いました(60代,女性)。

【関連行事等について】

- ・初日見た時は理解できなかったところも解説により理解できました。ギャラリートーク1時間半にわたり,詳しくありがとうございました。貴重な時間でした(20代,女性)

- ・ギャラリートークありがとうございました。一人で見ただけではわからなかったり,他の参加者もおっしゃっていましたが,素通りしてしまったりするような部分も話を聞くことで理解を深めることができました。また,学芸員だけでなく,他の参加者の意見も聞けるのかと,初めてギャラリートークに参加しましたが,新鮮で良かったです。

- ・素晴らしい展示でした。河口先生のトークが秀逸でした。人と人の争いが,人と人だけでなくその周りのすべてを巻き込む,それがいかに良くないことかということをお教えました(40代・男性)。

【御指摘・不満等】

- ・Please add Chinese(10代・男性・台湾)。

- ・BGMや映像,解説などがあると親しみやすいと思う(50代・男性)。

- ・とてもありがたい展示だが,博物品なのか,美術品なのか,境目があいまいで,もう少しわかりやすいとよりよかったです(30代,女性)。

- ・B29のプロペラと水戸市の歴史の関係が不明。

- ・茨城の加害についても展示してください。被害だけでは不公平です。子どもを戦争にかりだされたくない。(50代,女性)。

- ・2点ほどあったらいいなと思うことがあります。一つは,もう少し解説のパネルを増やして欲しいということです。今日お話を聞いて初めてわかった部分もあるので,書いていただければギャラリートークのない日でも一人で理解を深められると思います。もう一つは,ソファの位置です。4階のソファは壁際にありましたが,もう少し手前に置いていただけた方が,資料も見やすいなと思いました。

- ・河口さんの写真,映像,動画が見れると理解が深まると思う。戦争の冷徹さを物語る動画がでもいい。何よりこのような場を子ども達や若者にも興味を持たせる工夫が欲しい(60代,男性)。

(4) 博物館について

① 今まで博物館に来たことはありますか？

よく来る	11	あることを知らなかった	15
何度か来たことがある	21	無回答	3
あることは知っていたが,来たことはなかった	22	※回答者のうち,初めて来館した人の割合 約51%	

② 水戸市立博物館の魅力度をどう感じましたか。

魅力的	24	やや魅力不足	1
やや魅力的	29	魅力がない	0
普通	10	無回答	8

③ 今後開いてほしい展覧会について（一部抜粋）

自然	恐竜/地学科学
歴史	県との共催で引道館・歴史館・博物館で水戸の歴史を掘り起こす企画/戦争遺物/戦争中に満州に渡った方々/昭和～平成の水戸市の発展につながる江戸からの流れ/水戸城/水戸徳川家
民俗	納豆/千波湖に昔あった遊園地/郷土かるた/昔の遊び/市内でつかっていた乗り物/昭和史/ミニカー/昔のゲーム/昔の日常生活がわかるもの
美術	現代の水戸周辺美術など/水戸の美術作品を集めたもの/水戸市の有名なものを展覧する会/季節感のある作品（夏シリーズ、冬シリーズ）/内原の弓指展とてもよかった。アーティストとの仕事をまたみたい。
その他	サンリオの歴史/水戸の名誉市民

④ 博物館の全体的な展示、施設、運営などについて、ご意見やご希望がございましたらお聞かせください。

<ul style="list-style-type: none"> ・また来たいなと思いました。子どもや大人がわかりやすい展示にしてほしいなと思いました（9歳）。 ・この博物館でなければ見ることの出来ない展示を続けてください。現代美術とのテーマの融合が今回のポイントでした。市内外の多くの方が、訪れてみていただくような施設になりますようお願いしております。（50代,男性）。 ・他の館と違い、四つの部門があり、それぞれが互いに補完されながらも、際だった展示がとても魅力的であった（20代,男性）。 ・入館無料なのが、おどろきでした。貴重な展示物、どれも興味深く拝見しました（50代,女性）。 ・水戸市立博物館をもっとPRできたらと思う（男性）。 ・大型博物館でなく、どこか古風な感じで身近な博物館と云う建物（肩がこらない）（50代）。 ・とても興味をひかれる企画コンセプトでした。「戦争」の記憶や過去の出来事に対する認識が薄れていくなかで、それをどのように身体感覚のレベルも含めて考えさせ、つなげていく、継承させていくのかが、さらに今後も、大きなテーマとなっていくと思います。その点で、いろいろなアイデアを提示し、試みていくことが、ますます大切になると思われます（50代,男性）。 ・動物たちのはくせいがあると思わなかった。とてもかわいらしかった。もっとみてみたい。もっといろんなはくせいをさわりたい。クイズのシールの種類をふやしてほしい（10代）。 ・駐車場がいっぱいであきらめようと思いました（60代,女性）。 ・空襲前と後の写真が残っていたら対比させて展示して貰うと楽しい。平和記念館でみた水戸駅のモダンさに感動した。水戸の歴史のなかで、建築物の歴史・変遷も面白いと思う。有名な建築家が建ててくれているのでアピールとなる（60代,女性）。

・ 駐車場が無料で嬉しいのですが、暑い中、地下から階段を上って2階の入口に行くので年齢を重ねるときついかも・・・と毎回思います。せめて図書館の1階からアクセス出来るとよいのですが。美術館もそうですが、水戸市はバリアフリー対応がとても遅れていますね。コンテンツは良いのに (60代,女性)。

7 会場の様子



4階展示室



4階展示室



3階展示室



2階受付壁面に設置した《関係—鳥の巣箱》

報告事項(2) 特別展「洋服と和服の100年」の結果について

1 概要

現在和服は七五三や成人式などの特別な場合を除き日常では着用されなくなっているが、80年ほど前までは和服が一般的な衣服だった。現在のように誰もが洋服になったのは昭和30～50年代になってからで、既製服が大量生産される昭和40年代以前は家庭等で手作りした。またその頃は洋裁を習うための裁縫学校も全国で多数開校していた。

水戸市は県庁所在地ということもあり、明治以降女学校等で広く裁縫教育が行われていた。また戦後は多くの洋裁学校が開かれたが、既製服が大量生産される流れの中で大半はなくなっている。

展覧会では日本人の衣服がどのように移り変わっていったのか、実物資料や当時の写真を交えてその経緯を追いつつ、併せて戦前から戦後の水戸の学生の服装などを展示した。



4階展示室



3階展示室

2 会期 令和7年10月25日(土)～11月30日(日) 32日間

3 入場者数 2,280人

【内訳】(有料入場者) 一般券 367人 割引券 48人
(無料入場者) 招待券 713人 幼児 49人 小・中学生 164人
高校生 21人 65歳以上 528人 茨城県民の日 167人
ハッピーホリデー 92人 その他無料入場者 131人
※全入場者数に占める有料入場者の割合 約16%

4 顧客満足度

約96.5% (N=116) 満足 94, やや満足 18, 普通 4

5 関連行事の結果

(1) きせかえドレスフレームを作ろう

講 師：茨城県立水戸高等特別支援学校生徒
内 容：布地やパーツを貼り付けてフレーム内にミニチュアのドレスを作成した。
日 時：11月13日（木・県民の日）
10：00～／11：30～
会 場：中央図書館3階視聴覚室
参加者：20名



(2) レトロ着物コーデ研究会

講 師：当館学芸員
内 容：参加者と一緒に昭和初期の館蔵品の着物をコーディネートし、出来上がったものを3階に展示した。
日 時：11月1日（土）13：30～／15：00～
会 場：中央図書館3階視聴覚室
参加者：18名



(3) 蓄音機のレコード鑑賞会

講 師：当館学芸員
内 容：大正～昭和初期に作られたレコードを手回し蓄音機で鑑賞した。
日 時：11月9日（日）10：30～／14：00
会 場：博物館4階展示室
参加者：24名



(4) ギャラリートーク

日 時：①10月26日（土）②11月23日（日）
いずれも14：00～
解 説：当館学芸員
会 場：博物館3，4階
参加者：①12名 ②32名



6 アンケート集計結果 (回答者数：116人)

(1) 展覧会の広報について

① この展覧会を何でお知りになりましたか？

ポスター	29	雑誌・タウン誌	3
チラシ	38	テレビ・ラジオ	0
広報みと	5	人から聞いて	21
ホームページ	10	博物館・図書館に来てみて	16
SNS	7	その他	7
新聞	6	※その他 招待券, 年間予定表, 風の噂	

(2) 今回の展覧会について

① この展覧会に対する御意見や御感想をお聞かせください。

【展示関係】

- ・今回の展覧会は洋裁・和裁に興味のある私にとって非常に意義深いものでありました。洋服の実物展示は服地の質感を感じられ、ミシンの実物も感動しました。和裁の学びとしてミニチュアをぬっていたことを初めて知り面白かったです。またこのような企画を願います。
- ・服飾に関心のある私にとってとってもステキな企画です。古いエレガントなドレス、現代の服など、いつまでも見ていたいと思いました。
- ・時代ごとの生地感を見ることが出来てよかったです。ガラス内の展示物の背面も見てみたかったなと思います。
- ・なつしさで胸がいっぱいになりました。特にファッション雑誌の表紙のイラストはとても魅力的で、素敵でした。今の時代に又復活させてほしいですね！明治～昭和初期の着物もすばらしい！
- ・質、量ともに素晴らしく、準備がとても大変だったと思います。来て本当によかったです。ありがとうございました。
- ・実際の衣服を見ながら洋服や着物について学ぶことができ、とてもおもしろかったです。特に昭和初期の着物が見ていてとても楽しかったです。
- ・人間国宝の中村勝馬氏の作品は現在でもモダンな着物として使用できそうですがだと感じた。
- ・「紫縮緬地草木流水模様小袖」が豪華絢爛で美しかったです。私はリベラルなので日本の歴史と伝統は嫌いですが、それにもかかわらず目を見張るような美しい礼服や和服が多く感動しました。また茨城県の教育史としても本展示の価値は高く茨城県の教育の歴史と伝統の重厚さを思い知りました。ちなみにリリー文化服装学院と『装苑』の由来が分かったためになりました。
- ・茨城や水戸の服飾文化や歴史が知れてよかったです。明治～大正期のドレスも美しかったし、自分の母校に関する展示もあり大変興味深かったです。
- ・この手の展示は当時の一部上流階級の人達の物が多かったが、庶民の人達の服にもしつかりとスポットが当てられていて良かった。
- ・明治期から戦後の洋服と和服の変遷が分かり易く展示されていて面白かった。情報量が多すぎないのも見やすかったと思う。
- ・東京で同じような衣服の歴史の展覧会を見たが、こちらの方が展示内容と内容説明がわかりやすく楽しく見て回ることが出来ました。
- ・実物を見てとても歴史を感じました。この移り変わりを経て、現代の豊かな素材や表現が顕すことができたのだと、先人の手仕事に感動しました、特に市内の学生服にはおどろきました。
- ・現在私は88歳ですが、ほとんどが戦時体制下にあったので、このような楽しい思い出はありません。よく残っていたと感心しました。

- ・戦争当時、女性の帯に戦争の柄があることにビックリした！！昭和 30 年代の母親のスキル（手作りの服など）はすごいですね。
- ・古い物を大切に保存し受け継ぐ事の大切さを改めてしりました。アッこれ家にも有る…と言いながら見させて戴きました。
- ・よくこれだけの資料・実物を集められたと思います。和服から洋服への変遷がよくわかりました。リカちゃんに着せていた 1/6 のお洋服も可愛かったです！
- ・中原淳一デザインの服をミニチュア（リカちゃん人形）に着せる試みは面白かった。またボタンをシリコンで複製する話も良かったです。デザインと世相と経済・政治を関連させた見方も面白いです。レプリカを実際に着られるコーナーとがががあるとなお興味深いと思います。
- ・リカちゃん人形、それいゆエリアが可愛かったです。マネキン一つとってもポーズがとても素敵でした。着物の色合わせも天才的に可愛くとてもわくわくしました。
- ・ミニチュアの着物や洋服がかわいい。3 階の展示の着物があざやかですてき。着てみたい。
- ・これだけたくさんを着物を一気に見る事ができて良かったです。中原淳一が好きなので、それいゆが見られたのも嬉しかったです。

【学校・制服等】

- ・水戸市内に昔からある学校の歴史をそれぞれ展示していたのが分かりやすく良かったです。私の母校も展示も在り特に嬉しく拝見しました。
- ・時代と共に制服になっていく過程が興味深かったです。洋服の制作方法も時代と共に変わってきているんだなあと思いました。
- ・30 年前、「家政科」の高校で被服を学び、とても楽しかったこと、思い出おこしました。母もよく服を作ってくれました。今は手作りすることがなく、さみしいです。又同じような時代がきたらいいなあと思います。

【昭和 30 年代の動画】

- ・とても懐かしい気持ちになりました。貴重なビデオを観させていただき個人の方の良い思い出が今では資料にもなるのだと思いました。服飾も大変貴重な物ばかりと思います。保存も綺麗にされていて今後長く伝えて下さることを願います。
- ・センスが良くくつろげました。動画も良かったです。

【関連行事】

- ・着物のコーディネートで妹が楽しめたようなので何より。帯も色々な種類があるんだなあと思った。

【入場料】

- ・とても楽しめた。200 円で安いと思った。500 円位の価値がある。
- ・200 円でこのボリュームはびっくりです。どの時代の服もそのときを一生懸命生きた人々の人生が見えるようでした。
- ・昔の貴重な衣装が見れて楽しめました。入場料が安い上に、市立図書館で無料招待券があったので、利用させていただきました。
- ・他に用事がありその途中によりました。あまり興味の無い分野でしたが、無料と思い込んでいたので来館しました、入場料がかかり、おどろきました。200 円なのとせっかくなので、入場しました。水戸市の歴史や当時の文化・社会の背景と関連させた展示だともっとよかったように思いました。

(3) 今後開いてほしい展覧会について

自然	恐竜／動物の生態／植物関係やガーデニングの歴史について／水戸にカワウソはいたのか
歴史	城／徳川家／徳川 15 代将軍／佐竹氏の歴史／地図・絵図／今昔の建造物の比較展／天狗党／水戸学特集，水戸の学校の歴史／昔の水戸住民達の暮らし(江戸～昭和)
民俗	着物・帯留，簪／昔の食べもの／昔のおもちゃ／昭和の家電やキッチン用品／茨城鉄道／山車／水戸市出身の漫画家，イラストレーター，サブカルの作品展／祭事や神道／水戸市にゆかりのある人物にまつわる展示（香川志保子さんのことは初めて知りました）
美術	画家のスケッチブック／茨城出身の日本画家の展覧会

(4) 博物館について

① 今まで博物館に来たことはありますか？

- ア) よく来る 21 人
- イ) 何度か来たことがある 50 人
- ウ) あることは知っていたが来たことはなかった 18 人
- エ) あることを知らなかった 26 人
- オ) 無回答 1 人

② 水戸市立博物館の魅力度についてどう感じましたか？

- ア) 魅力的 48 人 イ) やや魅力的 32 人 ウ) ふつう 22 人
- エ) やや魅力不足 8 人 オ) 魅力がない 0 人 カ) 無回答 6 人

(5) 博物館の全体的な展示，施設，運営などについて，ご意見やご希望がございましたらお聞かせください。(一部抜粋)

【施設について】

- ・水戸市立博物館は若いころから足を運ぶことの多かったレトロな風合いのある，なかなかないタイプの博物館だと思います。いつもでも永く愛されていてほしいと願います。(タイムスリップします☆☆)
- ・展覧会で見に来たいのがあるが，図書館の駐車場が混んでいて，なかなか停められないのが残念。
- ・駐車場が狭いのが昔から難点です。駐車台数も少ないし枠が狭い。
- ・図書館と博物館の建物は3Fと4F違うので，ややこしかった。今は理解出来た。
- ・〇〇館の入り方等，図面がHP等の案内にあったら良いなあと思いました。
- ・博物館の建て替えがあっても…
- ・改築は難しそう。現建物を未来へ(新しいスタイルのものができてますが)
- ・立地は良いと思う。しかし，狭いので展示に限界を感じる。もう少し駅から遠くてもよいので広い場所にすべきと思う。他県からも来訪したいと思う市立博物館がよい。

【展示について】

- ・展示物の保護のためだと思いますが，少しうす暗い気がします。グッズなどの物販も充実するとより楽しいと思います。
- ・若い人に来てもらうためにもっとインパクトのある事を行ったほうがいい
- ・自分は自然科学が好きです。是非その辺を充実させてほしいです。一方で水戸の歴史的な価値もあると思うのでともかく頑張って下さい！
- ・初めて来ましたが，とても良かったです。バスのフリーパスで寄れるのがいいですね。

【運営について】

- ・学校教育での学ぶが博物館でも活かすことが出来る展示・企画を強く望みます。
- ・はじめて来ました。良き展示をしてもニュースが入らずの感があります。魅力的な博物館となるよう今後も期待しております。
- ・会期がみじかく、おもしろそうと思っても、なかなか来れなかつたりしたので、特別展とかは長い間開催してほしい。
- ・時代物を書く作家です。特別展が明治村の物より多く男性の服も在り図録が魅力的でした。図録の通販を振込やネットショップ形式等簡易にしていきたいです。

(6) 回答者について (計 : 116 人)**① お住まい**

水戸市	63 人	
水戸市外 (県内)	41 人	日立市, つくば市, ひたちなか市, 那珂市他
水戸市外 (県外)	8 人	東京都, いわき市, NY 他
無回答	4 人	

② 交通手段

電車	14 人	バス	10 人	自家用車	74 人
タクシー	1 人	バイク	2 人	自転車	2 人
徒歩	17 人	その他	1	無回答	3 人

③ 性別

男性	28 人	女性	72 人	無回答	16 人
----	------	----	------	-----	------

④ 年齢

9 歳以下	8 人	30 代	9 人	60 代	23 人
10 代	12 人	40 代	13 人	70 代以上	19 人
20 代	7 人	50 代	21 人	無回答	4 人

報告事項(3) 令和7年度博物館事業の実施状況について

【I 資料の収集について】

1 寄贈資料（寄贈者名は敬称略）

(1) 自然部門

No.	資料名	点数	寄贈者
1	昭和46年式オリンパス生物顕微鏡EA型	1	気田利正
2	コウノトリ	1	大洗町教育委員会教育長
3	キビタキ	2	私立認定保育園 ウォーターリリーナーサリー
4	アカハラ	1	来栖義久
5	メジロの巣	1	梅田美菜子
6	シロハラ, コガモ雌雄	3	大串寛
7	ヒマラヤスギの球果	8	浜口悦子
8	カラスウリの実	18	浜口悦子
9	カラスウリの種子	一式	浜口悦子

(2) 歴史部門

No.	資料名	点数	寄贈者
1	小宮山楓軒書簡（聖牌のことに付他）他	11	非公表
2	徳川頼房書簡	1	非公表
3	現行公布全書 他	2	非公表
4	大洗鹿島線開業1周年記念入場券 他	7件	非公表
5	写真（水戸黄門神社創建記念式典）	1	湯原文武
6	支那事変従軍記章之証 他	10	非公表

(3) 民俗部門

No.	資料名	点数	寄贈者
1	徽章類（水戸高女他）	4	佐久間響子
2	モーニング一式（1972年製三越製）他	2	篠崎憲子
3	緋の羽織, 緋の着物	3	深谷征雄
4	行灯袴	2	深谷征雄
5	丸皿, 角皿 他	17	菌部洋子
6	富田誠一氏関係資料	一式	富田淳一
7	昭和4年陸軍特別演習後の招待状と記念の写真（フロックコート姿） 他	2	古田憲司
8	切手帳 他	9件	非公表
9	ゼブラ シャーボウ 他	4件	戸張千雅子

10	望月安雄・望月学院関係資料	一式	非公表
11	菊池家関係資料（菊池五郎・菊池幽芳他）	一式	山田純子
12	レース編み物 他	6件	戸張千雅子
13	主婦の友（昭和8年1月号）他	7件	非公表
14	望月文化服装学院関係資料, 市内学校関係資料	8件	非公表
15	出征の幟旗, 手持ちの出征旗 他	8件	古田幸男
16	衣料切符入, 保険料領収帳 他	4件	菅井直也
17	楽譜「美しき碧きドナウ」合唱曲他	2	中山明人
18	主要食糧購入通帳 他	3	小澤正哉
19	深作欣二サイン 他	5	小澤正哉
20	シンガーミシン刺繍（菊池ちさ氏製作）	2	宮本寿子
21	SPレコード 他	2件	永尾慧子
22	水戸市自治有功章のピン 他	4件	小澤正哉
23	紫縮緬地孔雀柄褙模様色留袖 他	31件	非公表
24	卒業生の裁縫作品	一式	学校法人大成学園
25	女兒用のかいまき	4	非公表
26	中原淳一 慰問絵葉書「少女更正絵はがき」他	3件	非公表
27	木目込雛人形（ガラスケース入）	1	非公表
28	入社式に着たワンピースとジャケットのアンサンブル	一式	非公表

2 取得資料

部門	資料名	点数
自然	ムクドリ斃死体	1
	コウノトリ斃死体	1
	ムクドリ斃死体	1
	トラツグミ斃死体	1
	ハクビシン斃死体	1

【Ⅱ 資料の保存について】

1 資料の修復

部門	資料名	内容
自然	コウノトリ 1件	部分標本作製（頭骨・翼・尾羽・脚骨）

2 施設等の修繕

修繕箇所	内容
1階事務室系統 空調機	機器修理
2階展示室正面玄関シャッター	機器交換
4階展示ケースガラス	ガラス交換

【Ⅲ 資料の展示・活用について】

1 常設展

部門	テーマ	期間
自然	水戸の自然と生き物	通年
歴史	テーマ1 水戸城から見る水戸の歴史 テーマ2 戦後80年 水戸1945	通年
民俗	マッチラベルと水戸の町 水戸市立博物館所蔵 雛人形コレクション	通年
美術	水戸の美術Ⅰ テーマ 戦後80年特集展示－市博所蔵品を通して戦争を考える－	令和7年6月14日 ～7月6日
	水戸の美術Ⅱ テーマ 水戸の画人－杏所と十江－	令和7年9月3日 ～9月21日
	水戸の美術Ⅲ テーマ1 近現代の洋画 テーマ2 屏風絵の世界	令和7年12月13日 ～令和8年1月12日
	水戸の美術Ⅳ（テーマ未定）	令和8年3月21日 ～5月末（予定）

2 教育普及事業

(1) 学校連携事業

① 体験講座・見学等

内 容	校数	内 訳	人数	備 考
むかしの道具の体験講座と博物館見学	9校	小学校 9校	449人	実施予定を含む
博物館見学	4校	小学校 2校	39人	
		中学校 4校	64人	
博物館実習	4校	大学 4校	4人	
職場体験	4校	中学校 4校	10人	
合 計	21校		566人	

② 学校への資料の貸出

部 門	校数	内 訳	資 料 内 容
歴史部門	6校	高等学校 6校	戦争関連資料（手榴弾，艦砲射撃弾の破片，焼夷弾，千人針，日章旗等）
民俗部門	1校	小学校 1校	むかしの道具（アイロン，ゆたんぼ，黒電話等）
合 計	7校		

(2) 一般向け事業

① みと歴史講座

テーマ	期 日	講 師	参加人数
『好文亭日記』から見る明治2年の水戸偕楽園	12月6日	村上瑞木氏	80人
『石河明善日記』第5巻から見た幕末の水戸藩	1月18日	久信田喜一氏	85人
合 計			165人

② 自然観察会

テーマ	場 所	期 日	講 師	参加人数
春の植物観察会	逆川緑地	4月27日	浜口喜夫氏 浜口悦子氏	22人
夏の昆虫観察会	逆川緑地	6月14日	佐々木泰弘氏	19人
秋の植物観察会	逆川緑地	10月5日	浜口喜夫氏 浜口悦子氏	14人
冬芽・葉痕の観察会	逆川緑地	1月18日	浜口喜夫氏 浜口悦子氏	20人
野鳥観察会	大塚池	1月31日	後藤俊則氏	19人
合 計				94人

③ その他の講座（実施予定を含む）

講座名	期 日	講 師	対 象
ミニ講座「近世日本の教育遺産群について」	4月3日	藤尾隆志	「近世日本の教育遺産群」 日本遺産登録10周年記念 講演参加者 56人
調べる学習の”タネ”講座「江戸時代の水戸の学校」	7月27日	藤尾隆志	水戸市立図書館 10人
【文京区・水戸市協定締結記念事業】江戸の学びと水戸藩—日本遺産近世日本の教育遺産群の魅力— 第3回「徳川斉昭と弘道館・偕楽園」	11月27日	藤尾隆志	文京アカデミア講座 25人
第4回「足利学校・閑谷学校・咸宜園の魅力」	12月18日	藤尾隆志	同上 23人
第6回歴史講座「水戸市立図書館デジタルアーカイブで見る水戸の空襲」	3月8日	藤尾隆志	茨城県立歴史館 (定員70人)
合 計			184人

(3) ぴ〜すプロジェクト

① わたしは戦争を忘れない —伝えたい思い—

日 時：①令和7年8月2日（土）、②12日（火）いずれも14:00～16:00

会 場：茨城県立図書館 2階視聴覚ホール

講 師：①片根光氏・柏俊子氏 ②鈴木暎一氏

※②に出席予定だった篠原吉宗氏は体調不良のため欠席

参加者：①70人 ②105人

(4) 博物館資料調査

① 歴史資料解読定例会

15回開催予定

3 資料の貸出等

(1) 資料の貸出（学校を除く）

部 門	件数	内 訳	資 料 内 容
自然部門	1	東海村立図書館	昆虫標本 9箱・写真パネル 10枚
歴史部門	11	個人（使用先：茨城大学）	常陸国絵図 他 15件
		個人（使用先：茨城大学）	心越禅師書画帖 他 15件
		個人（使用先：茨城大学）	徳川斉昭書簡（仙波之義ハ城第一要害之堀に付）他 13件
		那珂市	戦前の古写真のパネル 他 29点
		個人（使用先：茨城キリスト教大学）	手榴弾、艦砲射撃砲の破片 他 4件
		水戸市立見和図書館	水戸百年写真ファイル 7点
		戦争体験を聞く会	焼夷弾、艦砲射撃砲の破片他 6件
個人（使用先：ひたちなか市埋蔵文化財センター）	千人針、焼夷弾他 6点		

部 門	件数	内 訳	資 料 内 容
歴史部門	11	水戸市立見和図書館	焼夷弾, 空襲予告ビラ 他 17 件
		個人 (使用先: 水戸第一高等学校)	灯下管制の黒布おおいの電球 他 8 件
		個人 (使用先: 茨城キリスト教大学)	手榴弾, 艦砲射撃砲の破片 他 4 件
民俗部門	2	常陽藝文センター	看板等, ランラン香油 他 12 点
		株式会社 SystemRS	ますだやコレクション 30 件
美術部門	2	北茨城市歴史民俗資料館 野口雨情記念館	五百城文哉「輪王寺宮平潟港上陸図」 額装 1 点
		個人 (使用先: 国立新美術館)	吉澤鐵石「送司勳子才丈赴梓州」

(2) 写真・画像使用の許諾 (資料貸出に伴うものを除く)

部 門	件数	内 訳	資 料 内 容
歴史部門	24	研究・講座等 8	<ul style="list-style-type: none"> ・「水戸百年」所収, 泉町広小路 (写真) 大貫浜図」各 1 点 (水戸歩く会「紀州堀ウォーキング」資料掲載) ・水戸弘道館内扇面貼込 (軸) 1 点 (個人の研究) ※申請者で撮影 ・江原寅吉関係綴り 他 8 点 (個人の研究) ※申請者で撮影 ・妊産婦手帳, 衣料切符 他 5 点 ※民俗資料含 (個人の研究「茨城県立歴史館企画展『出産と育児のあれこれ』関連講座で掲載) ・水戸城下絵図 1 点 (個人の研究「水戸下市ウォーキング」掲載) ・諸物会要撮要, 水戸徳川家関連資料 2 件 ※寄託資料 (弘道館事務所) ※申請者で撮影 ・『茨城民友』 8 点 (個人の研究『茨城史林』投稿) ※申請者で撮影 ・『旧將軍徳川慶喜公御幼少時ノ日記』 1 点 (個人の研究「吉川弘文館『雛祭りの歴史』」で 翻刻文掲載)
		印刷物等掲載 11	<ul style="list-style-type: none"> ・満蒙開拓青少年義勇軍募集ポスター 1 点 (文教出版株式会社「高等学校用検定教科書『精選日本史研究新訂版』掲載) ・「原豊前守宛北条氏政書状」 1 点※寄託資料 (千葉市立郷土博物館「千葉開府900年記念『千葉氏史料集』掲載) ・常陸山全身写真 1 点 (北國新聞「常陸山特集」掲載) ・水戸城遠景図 1 点 (茨城新聞社 鈴木暎一著「光圀・斉昭・東湖 - 水戸藩の三傑を語る」掲載)

部 門	件数	内 訳	資料内容
歴史部門	24	印刷物等掲載 11	<ul style="list-style-type: none"> ・水戸城閣図, 御三階櫓古写真 他 4点 (株式会社金甲社作成『週刊日本の名城 40城水戸城』掲載) ・水戸空襲写真 他 3点 (読売新聞「空襲特集記事」掲載) ・図 水戸の空襲 1点 (偕楽園公園を愛する市民の会『大名庭園サミット』資料掲載) ・水戸百年所収 谷中停留所の風景 1点 (水戸浪漫商店街イベントチラシ掲載) ・弘道館図, 大日本史 他 3件 (公益財団法人常陽藝文センター『常陽藝文』(特集弘道館) 掲載) ・満蒙開拓青少年義勇軍募集ポスター 1点 (株式会社帝国書院「高等学校地歴科 日本史 研究副教材(資料集)『図説 日本史通覧』) ・高瀬舟模型, 小鵜飼船模型 2点 (常陸大宮市教育委員会『常陸大宮市史 資料編4近世II])
		テレビ放映 5	<ul style="list-style-type: none"> ・石河明善第19冊 他 2点 (NHKの番組内で紹介) ・水戸城大手門写真 2点, 水戸城本丸角櫓写真 1点 (テレビ東京の番組内で水戸城の紹介) ・水浜鉄道 路面電車写真 2点 (BS朝日の番組内で紹介) ・水戸空襲写真 2点 (NHK水戸放送局ニュース番組で使用) ・水戸城復元模型 1点 (BS11の番組内で紹介) ※申請者で撮影
民俗部門	3	研究 1	<ul style="list-style-type: none"> ・舩田屋コレクション 30点 (株式会社 SystemRS デジタルアーカイブ作成のため) ※申請者で撮影
		印刷物掲載 1	<ul style="list-style-type: none"> ・「水戸百年」所収, マント姿の水高生 1点 (個人の研究 "Fashion, Soft Power and Cultural Diplomacy: A Case Study of Japanese Fashion in Australia" に掲載)
		テレビ放映 1	<ul style="list-style-type: none"> ・うつろ舟模型撮影 1点 (BS テレ東の番組内で放映) ※申請者で撮影
美術部門	2	印刷物掲載 2	<ul style="list-style-type: none"> ・五百城文哉「日光東照宮陽明門と神輿舎」1点 (個人の研究「日本の細菌学の歴史に関する書籍」掲載) ・五百城文哉「晃嶺群芳之図」1点 (茨城県近代美術館友の会「友の会会報誌『游美』及び友の会 Web サイトに掲載)

協議事項(1) 特別展 子どもミュージアム「夜のいきもの展」の開催について

1 名称

特別展 子どもミュージアム「夜のいきもの展」

2 趣旨

私たちヒトは、人生の3分の1を睡眠に当てている。昼に活動し、夜に眠る一多くのヒトがこのサイクルで生活しているが、学業や仕事、趣味などの都合で、昼夜逆転の生活を送るヒトもいる。単一の種の中でここまで昼夜の活動時間に個体差が見られる生物は、ヒト（ホモ・サピエンス）だけだと言われている。とはいえ、大多数のヒトにとって、やはり夜は眠るためにあると言える。

一方で、世界には、ヒトが眠る夜を活動時間とする生物が多く存在する。夜行性とされる動物や、夜に特異な姿を見せる植物など、その生態は多種多様で、魅力に富んでいるが、私たちが目にする機会は少ない。

そこで、本展覧会は、そんな闇にまぎれて生きる「夜のいきもの」たちの姿にクローズアップし、子どもの自然への興味・関心を高めるとともに、生物多様性の魅力を幅広い世代に感じていただくきっかけとする。

3 会期

令和8（2026）年1月31日（土）から3月8日（日）まで 32日間
※月曜日休館，ただし2月23日（月）は開館，24日（火）は休館

4 会場

4階，3階展示室

5 展示構成

- ・序章 「夜のいきもの」とは
- ・第1章 夜のヒト（わたしたち）
- ・第2章 夜の昆虫たち
- ・第3章 夜の魚たち
- ・第4章 夜の鳥たち
- ・第5章 夜の哺乳類たち
- ・第6章 まだまだいる夜の動物たち
- ・第7章 夜の植物たち
- ・終章 夜のおわり，朝のおとずれ

6 出版物

ポスター，チラシ，図録（500円）

7 料金

一般200円（20名以上の団体は150円），18歳以下・65歳以上無料，各種割引有り

8 備考

会期中，各種関連行事を実施

協議事項(2) 令和8年度博物館の主な事業計画(案)について

(1) 特別展等の開催

ア 特別展・企画展等を年3回開催して、郷土の歴史や文化、自然に対する新たな視点からの興味・関心を引き起こし、市民文化の向上に努める。

イ 展覧会の関連行事など博物館外での活動を実施して、展示の補完に努める。

・令和8年度展示予定

企画展 夏休み子どもミュージアム「郷土人形とおもちゃの博覧会(仮称)」
(民俗部門)

秋季特別展 「魂の叫び 洋画家・寺門弘(仮称)」(美術部門)

冬季特別展 「近世日本の教育遺産群 ～泰平の御代の原点～(仮称)」(歴史部門)

(2) 収藏品等による常設展の開催

ア 調査・研究・展示等に活用するため、郷土に関する自然・歴史・民俗・美術等の資料の収集に努める。

イ 新たに収集した資料の公開を積極的に行うなど、常設展の展示内容の充実に努める。

・常設展の展示替え：5月下旬～6月上旬(全部門)

9月・12月・令和9年3月(美術部門)

(3) 学校等との連携事業の推進

ア 小学校等の校外学習(むかしの道具の実体験講座)や、中学校等の職場体験を積極的に受け入れるとともに、資料の貸出を行うなど、学校教育との連携に努める。

・見学・体験講座の受入れ、資料の貸出、職場体験等を学校からの要請に応じ随時実施

・博物館実習生の受入れ：8月上旬に実施予定

(4) 各種教育普及事業の推進

ア 戦争体験者による語り部事業「わたしは戦争を忘れない」を実施し、平和の大切さを伝えるとともに、記憶が風化しないよう記録に努める。

イ 自然観察会等、博物館外での活動を実施し、市民が楽しむことのできる教育普及事業の充実に努める。

・「わたしは戦争を忘れない」：8月2日、8月15日に開催予定

・自然観察会：年5回開催予定

・みと歴史講座：年2回開催予定

(5) デジタルアーカイブの充実

ア 現在、ホームページで公開しているデータを整理してより分かりやすくする他、収蔵資料のデジタル化を進める。

・主要資料から順次デジタル化を進める予定。

参 考

○水戸市立博物館条例

昭和55年 3月28日

水戸市条例第21号

改正 昭和56年 3月27日条例第20号

平成 4年 9月22日条例第27号

平成24年 3月28日条例第15号

令和 5年 3月27日条例第17号

注 平成24年 3月から改正経過を注記した。

(趣旨)

第1条 この条例は、地方自治法（昭和22年法律第67号）第244条の2第1項の規定に基づき、博物館の設置及び管理について必要な事項を定めるものとする。

(令5条例17・一部改正)

(設置)

第2条 市民の教育、学術及び文化の発展に寄与するため、博物館を次のとおり設置する。

名称 水戸市立博物館

位置 水戸市大町3丁目3番20号

(職員)

第3条 水戸市立博物館（以下「博物館」という。）に館長、学芸員、事務職員その他必要な職員を置く。

(観覧料等)

第4条 博物館の入館料は、無料とする。ただし、水戸市教育委員会（以下「教育委員会」という。）が期間を定めて特別の展示会を催したときは、教育委員会が定める観覧料を徴収することができる。

2 教育委員会が特に必要があると認めるときは、前項の観覧料を減額し、又は免除することができる。

3 既納の観覧料は、還付しない。ただし、教育委員会が特別の理由があると認めるときは、その全部又は一部を還付することができる。

(損害賠償等)

第5条 入館者は、博物館の施設、設備又は博物館資料を損傷し、又は滅失したときは、速やかに原状に復し、又は市長が定める損害額を賠償しなければならない。ただし、市長が特にやむを得ない理由があると認めるときは、この限りでない。

(博物館協議会)

第6条 博物館法（昭和26年法律第285号）第23条第1項の規定に基づき、水戸市立博物館協議会（以下「協議会」という。）を置く。

（令5条例17・一部改正）

（組織等）

第7条 協議会は、学校教育及び社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者並びに学識経験者のうちから、教育委員会が任命する15人以内の委員をもって組織する。

2 委員の任期は、2年とする。ただし、補欠により任命された委員の任期は、前任者の残任期間とする。

3 協議会に、委員の互選により委員長及び副委員長を置く。

4 委員長は、協議会の会務を総理する。

5 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故あるとき、又は委員長が欠けたときは、その職務を代理する。

（平24条例15・一部改正）

（会議）

第8条 協議会は、委員長が招集し、委員長は、会議の議長となる。

2 協議会は、委員の2分の1以上の出席がなければ開くことができないものとし、協議会の議事は、出席委員の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

（委任）

第9条 この条例の施行について必要な事項は、教育委員会規則で定める。

付 則

この条例の施行期日は、教育委員会規則で定める。

（昭和55年教委規則第11号で昭和55年6月15日から施行）

付 則（昭和56年3月27日条例第20号）

1 この条例は、公布の日から施行する。

2 この条例による改正後の水戸市立博物館条例第6条第2項の規定により任命された委員の任期は、同条第3項の規定にかかわらず、1年とする。

付 則（平成4年9月22日条例第27号）

この条例は、平成4年10月1日から施行する。

付 則（平成24年3月28日条例第15号）

この条例は、平成24年4月1日から施行する。

付 則（令和5年3月27日条例第17号）

この条例は、令和5年4月1日から施行する。